

第15回 東三河ビジネスプランコンテスト

テーマ

錯覚介護 ～あの辺りをさがしてみたら？～

〈 アイデア部門 〉

申 込 者	会社名・団体名 中京大学経営学部 永石ゼミナール
	氏名（フリガナ） センガ シュン 千賀 駿

事業プランの内容

認知症の方は、大切なものだからこそ見つからないような場所に保管するという特徴があり、記憶力の低下により保管したこと自体を忘れてしまい、無くし物を一人で見つけることができなくなってしまうのです。

認知症の方の無くし物に対して、

- ① 介護する家族がベッパ―を用いて、無くし物の位置を空間的に把握する。
- ② 介護する家族が「あの、辺りを探してみたら？」と提案する。
- ③ 認知症の方が自らの力で見つけることができた「錯覚」する。

ビジネスプランのセールスポイント

(商品・サービスの特色、競合商品との比較など)

他社 (stick-N-find)との比較(強み)
すべてのものが対象になる
他社がサポートすることに特化している

申込者のアピールポイント

(技能・経験・ネットワーク)

現在私は認知症デイサービスで働いています。自ら実践に立ち認知症介護での苦労や悩みを知ることができる。
・名古屋市内の認知症介護機関とのつながりがあり、多くの介護者に会うことが可能であり、モニタリング協力者してくれるという方々も多くいる。
・トーマツベンチャーキャピタルがコンサルティングしてくれており、人の紹介や企業の紹介、ピッチをする機会をくれている。

事業プランが想定している市場・ユーザー

対象とする顧客

認知症により、無くし物で困っている高齢者がいる

国内の対象顧客世帯: 102万世帯

現状: 認知症の方は、脳の萎縮により短期記憶ができなくなり無くし物の回数が増える。

認知症の方は無くし物を繰り返し疑心暗鬼になってしまい、介護者は「あんたが取ったんでしょ！」と疑惑の目を向けられている。

競合商品(ライバル)

Stick-N-find

資金計画(一般事業部門応募の方は必須)

◇資金の使途

	金額(千円)	用途
設備資金		
運転資金		
その他		
合計		

◇調達計画

	金額(千円)	調達先
自己資金		
借入金		
その他		
合計		

支援して欲しい内容

1 資金調達

2 販路拡大

3 業務提携

4 技術支援

5 その他

今回のビジネスコンテストに対して、資金の支援と技術的な支援二つのことについて希望します。

理由としましては、今回私は画像認識の技術を使い、無くし物が原因となっている認知症の方と介護する方の精神的な負担を軽減させます。そのための画像認識を利用したシステム開発という技術的な支援を求めています。

それと同時に試作品を作るにあたって、お金が必要になってくるので試作品作成費としての資金の支援を希望します。